

O.S. ENGINE O.S. FS-26S-C & FS-26S-CX

—— エンジン取扱説明書 ——

このたびはOSエンジンをお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

この取扱説明書と「保証書」をよくお読みの
うえ正しくお使いください。
とくに「安全上のご注意」は必ずお読みく
ださい。

また必要なときに、参照できるように取扱説
明書は大切に保管してください。

使用する模型や無線操縦装置等の説明書も、
あわせてお読みください。



目次

安全上のご注意	2 ~ 5	使った後の手入れ	17
エンジン各部の名称	6	エンジンの点検	17 ~ 18
エンジンの取り付け	7	アフターサービス	18
スーパーエアクリーナー101の取り扱い	8	オプションパーツ&アクセサリ	19
リコイルスタータの取り扱いの注意事項	9	FS-26S-Cエンジン分解図	20
グロープラグについて	9 ~ 10	FS-26S-Cエンジン部品表	21
始動前の用具類	10 ~ 11	FS-26S-CXエンジン分解図	22
始動~ブレークイン(ならし運転)	11 ~ 14	FS-26S-CXエンジン部品表	23
エンジンが始動しない原因	14	キャブレタースロットル分解図及び部品表	24
タペット調整について	15 ~ 16	三面図	25 ~ 26
取扱い上の注意	17		

安全上のご注意

- * ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- * この安全上の注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。
常に安全を心がけエンジンの馬力を軽視しないこと。エンジンを安全に使用するの
はあなた自身の責任です。いつも注意深く分別ある行動をし楽しく使用してください。

この注意事項は誤った取扱いをした時に、生じる危害や損害の程度を「警告」「注意」
に区分しています。




警告

この表示の欄は、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

注意

この表示の欄は、人が中程度または軽傷を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容です。

警告

- ・ 燃料は有毒ですので目や口に入れしないでください。幼児や子供の手の届かない冷暗所で保管してください。健康を害する恐れがあります。

- ・ 換気の悪い場所（密閉したガレージや室内等）で運転しないでください。有害な一酸化炭素等を排出しますので必ず戸外で運転してください。健康を害する恐れがあります。
- ・ 燃料は火気厳禁です。火災の恐れがあります。

- ・ 運転中、運転直後のエンジン本体やサイレンサー、マニホールドに触れないでください。

やけどの恐れがあります。

注 意

- ・このエンジンは車用です。模型用以外に、使用しないでください。ケガや故障の原因となります。
- ・エンジンは模型に搭載してから始動してください。搭載前に始動するとケガの恐れがあります。
- ・必ず消音効果の高いサイレンサーを使用してください。耳に損傷を受ける恐れがあります。
- ・エンジンを使用するときは、子供や周囲の人々は安全のために、模型の後方6メートル以上離してください。エンジン始動後は模型には、近付けないでください。ケガをする恐れがあります。
- ・模型にエンジンを取り付けるときは、模型の説明書の指示に従って、確実に取り付けてください。エンジンがはずれてケガをする恐れがあります。
- ・プラグを通电しての点検時は手で持たずに、工具等ではさんで行ってください。また顔を近づけないでください。コイル内の燃料が沸騰してやけどをする恐れがあります。
- ・エンジンを始動するときは、安全メガネや手袋を着用し、必ずスターターを使用してください。ケガをする恐れがあります。
- ・走行前にスロットル・リンクageをチェックしてください。はずれるとケガをする恐れがあります。

-4-

注 意

- ・グロープラグクリップやそのコードが、回転部分にからまないようにしてください。巻き込んでケガをする恐れがあります。
- ・エンジンを運転中、車体を持ち上げてタイヤを空転させないでください。ケガや故障の原因となります。
- ・エンジンを停止させるときは、エンジン回転を最低速にし、燃料パイプをつまんで、燃料供給を止めてください。その際、回転部分には触れないでください。ケガをする恐れがあります。
- ・エンジン停止後、プラグヒートをしなくてもクランクすると、始動することがあります。ケガや故障の原因となります。
- ・リコイルスターターは分解しないでください。スプリングが飛び出してケガをする恐れがあります。
- ・スターターのノブを引く時は、模型をしっかり保持し45cm以上引かないでください。戻す時はスターターノブを持ったままゆっくり戻してください。ケガや破損の原因となります。
- ・スターターのロープが車体やエンジンに触れないようにし、真っ直ぐ引いてください。ロープが切れてケガをする恐れがあります。

-5-

製品について

このエンジンは低速からの独特のトルク感とサウンドが魅力の1/10クラスカー用OHV方式4サイクルエンジンです。エンジン性能を長く持続していただくためスーパーエアクリーナー101を標準装備。またエンジンスタートをより簡単にするためにOS純正リコイルスターターを装備した26S-CXも用意しました。

グロープラグの取り付け

ワッシャをプラグに入れて、取り付けてください。

又、新しいプラグに交換される時は、同時にワッシャも新品に交換してください。



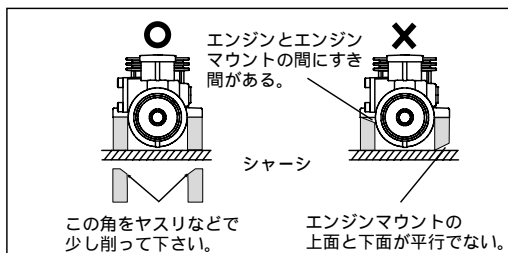
エンジン各部の名称



エンジンの取り付け

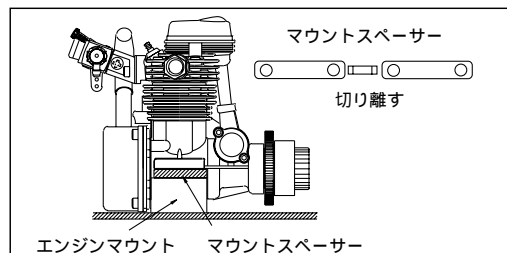
車に搭載する場合、次のことに注意してください。

- ・エンジン本体の取付け面（ビームマウントの下面）は完全に平面になるように加工されています。キットに付属されているエンジンマウントが平面でないと、クランクケースやシリンダーライナー、ベアリングなどを変形させ、エンジンの性能を十分発揮できないばかりでなくエンジンを壊してしまうことがあります。
- ・エンジンマウントの上下面が平行になっていることを確認のうえ、3mmの六角穴付キャップスクリューでエンジンに取り付け、その後シャーシに搭載してください。



26S-CXの取り付け

- ・エンジンマウントの上下面が平行になっていることを確認のうえ、車体側のエンジンマウントとエンジン本体との間に付属のエンジンマウントスペーサーを入れ、M3x15のねじでエンジンを取り付けてください。
- ・標準の位置で搭載できない場合、シャーシのエンジンマウント取付け穴をうまく搭載できるように細い丸やすり等で少し広げてください。
- ・エンジンマウントスペーサーは、図のようなスペーサーが付属しています。ペンチ等で切り離してご使用ください。取り付けは下図のように正しく取り付けてください。なお上下の区別はありません。



スーパーエアクリーナー101の取り扱い

このエアクリーナーは21クラス用と同じ湿式タイプを採用し、特殊なフィルターオイルの作用により、砂やほこりをシャットアウトし常に清浄な空気をエンジンに供給し、高性能を長時間発揮させることが出来ます。また、ワンタッチでキャブレターに取り付けられ、シールも確実にできる形状で、取付部分からの砂やほこりの侵入を防ぎます。

キャブレターへの取り付け

キャブレターが砂やほこりで汚れている場合は、きれいに洗浄しシール剤や接着剤が付着している場合は、完全に取除いてください。

- ・エアクリーナー本体の接続部の溝を図のようにキャブレターにしっかりとめ込んでください。不十分な場合、脱落する恐れがあります。

フィルターエレメントの装着及び交換

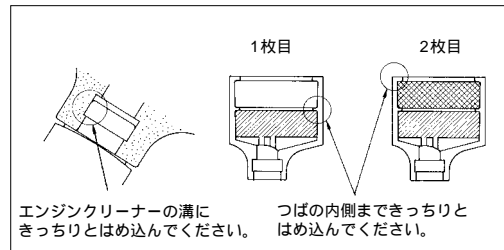
フィルターエレメントは保管の状態により、フィルターオイルが不均一になっていることがありますのでフィルターエレメントをポリエチレンの袋等に入れ手でもよくもんでから使用してください。

また、フィルターエレメントにしみ込んでいるオイルは紫外線により脱色することがありますが性能上、影響はありません。

- ・上段のフィルターエレメントは使用状況により異なりますが、1時間を目安に交換してください。
- ・下段のフィルターエレメントは、上段ほど頻繁に交換する必要はありませんが、状態を見て交換してください。その際、エアクリーナー本体に付着している砂やほこりがエンジン内部に入らないよう、十分注意をして交換してください。

(注意)

フィルターエレメントはすでに特殊なフィルターオイルをしみ込ませています。オイルには粘着力があり、べたつきますから注意してください。



リコイルスターター取り扱いの注意事項

このエンジンに使用されているリコイルスターターは一体構造のため、リコイルスターター本体及びワンウェイクラッチ以外の部品販売は致しません。アフターケアは「OSエンジンサービス係」までお申し付けください。

リコイルスターター本体やロープに燃料がかからないようにしてください。劣化の原因になります。

このエンジンは、リコイルスターターの構造上、逆転(シャフト側から見て時計まわり)はできません。フライホイール等を持って無理に逆にまわすと、リコイルスターターが破損します。絶対に逆方向にまわさないでください。

⚠ 絶対に分解しないでください。スプリングが飛び出してケガをする恐れがあります。

⚠ スターターのノブを引く時は、模型をしっかり保持し45cm以上引かないでください。戻す時はスターターノブを持ったままゆっくり戻してください。ケガや破損の原因となります。

⚠ スターターのロープが車体やエンジンに触れないようにし、真っ直ぐ引いてください。ロープが切れてケガをする恐れがあります。

グロープラグについて

このエンジンにはOSグロープラグタイプFが付属されています。グロープラグのフィラメントが劣化したり、断線した場合は、同じタイプFをご使用ください。

グロープラグの役目

グローエンジン始動時は通電しフィラメントを赤熱させ点火させます。始動後は通電を止めても、前サイクルの燃焼熱によりプラグのフィラメントが赤熱され回転が持続します。高回転時にはフィラメントが高温となり早いタイミングで点火し、低回転時には遅いタイミングで点火を行います。

グロープラグを長持ちさせるコツ

グロープラグは消耗品と考えてください。使い方次第でプラグの寿命は大きく変わります。ここでプラグを長持ちさせるコツをいくつかご紹介しましょう。

グロープラグを中速以上の回転域では、プラグヒートの電源を切ること。

あまりニードルを絞りすぎない。

エンジンにマッチしたプラグを使用する。

なるべく低ニトロ燃料を使用する。

グロープラグの交換の目安

エンジンの性能を100%維持するには、いつもプラグをベストコンディションに保つ必要があります。このような場合は早めにプラグを新品に交換してください。

フィラメントの表面が荒れて白色化している場合。

異物が付着している場合。

フィラメントが変形している場合。

フィラメントの表面が汚れている場合。

プラグの本体が錆びている場合。

混合気が濃いときにエンジンが止まりやすくなった時。

低速回転時に止まりやすくなった時。

始動性が悪い時。

始動前の用具類

このエンジンを始動するために、次のような用具が別に必要です。エンジンを購入された販売店等に相談して購入してください。

燃 料

一般に市販されている良質の模型エンジン用燃料をご使用ください。目安としてニトロメタン20%前後で潤滑油が多く含まれる燃料をお勧めします。一般にエンジンの出力は、使用する燃料に含まれるニトロメタンの量が多くなるにつれて増加しますが、その分グロープラグの磨耗が早く、エンジンの寿命が短くなる点にご留意ください。

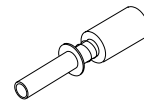


燃料は有毒ですので目や口に入れないでください。幼児や子供の手の届かない冷暗所で保管してください。健康を害する恐れがあります。

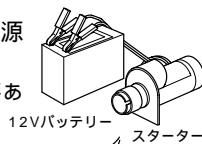


燃料は火気厳禁です。火災の恐れがあります。

バッテリー 一体型ブースター
始動用バッテリーとブースターコード
が一体になった物。



電動スターター及びその電源
エンジン始動時に使用します。
CXには電動スターターは必要
ありません。



チョークポンプ

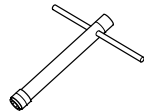
燃料缶から燃料タンクへ燃料を移
す時に必要です。



OSロングプラグレンチ

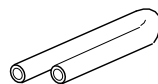
(プラグキャッチ機構付)

スプリングによりプラグがレンチ
に固定できるので、取付位置が深
い場合の脱着に便利です。
(コードNo. 71521000)



シリコンチューブ

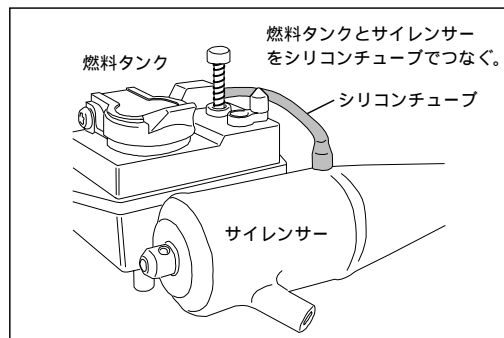
燃料の配管に使用するもので、
内径2mm、外径5～5.5mm位
のものが良いでしょう。



始 動～ブレークイン(ならし運転)

エンジンを始動する時には、車体を台等の上に置いて
タイヤを浮かせた状態で行ってください。

車の場合、燃料タンクの位置がキャブレターと比較的離
れている上に、走行中は路面の凸凹等でタンク内の燃料
の液面が大きく変化します。燃料の液面差を少なくし、燃
料を安定してキャブレターに供給するために、必ずマフ
ラープレッシャー(エンジンの排気圧を利用して、サイレン
サーから燃料タンクに圧力をかける方法)を使用してく
ださい。



エンジンの性能を最大に発揮させるため、適当なブレークインとキャブレター調整が必要です。(実際に車にエンジンを搭載し、走行させながら行ってください。)

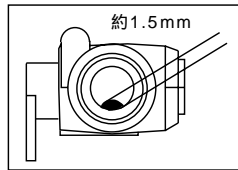
燃料タンクに、燃料を入れます。

プラグのフィラメントが赤熱するかを確認し、取り付けてください。

ニードルバルブを時計方向にゆっくりと止まるまで閉めます。この位置がニードルバルブの全閉位置で、これ以上は無理にまわさないでください。

この全閉位置から約2回、反時計方向へニードルバルブを開けます。(ニードルバルブを時計方向にまわすことを閉める、その反対を開けると言います。)

スロットルバルブが約1.5mm位、開くようにローター調整ねじで調整します。

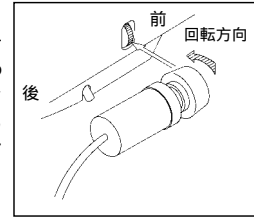


送信機、受信機の順にスイッチを入れます。

燃料タンクのチョークボタンを数回押して、燃料をキャブレターに送り込みます。

グロープラグをヒート(赤熱)する。(プースターコードで始動用バッテリーからグロープラグに通電する。)

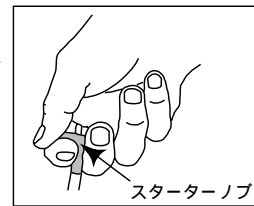
エンジンの回転方向(シャフト側から見て反時計方向)を間違わないようにスターターでエンジンを始動します。(始動する際には必ず、エアクリナーを付けてください)



26S-CXで始動する場合

燃料タンクのチョークボタンを数回押して、燃料をキャブレターに送り込みます。(送り過ぎるとオーバーチョークになり、リコイルスターターが引けなくなりますので注意してください。)

リコイルスターターのスターターノブを数回、出来るだけまっすぐに、すばやく引いてエンジンを始動します。

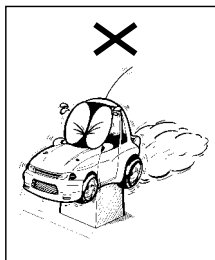


(注意)

2サイクルエンジンに比べコンプレッションが強いので、リコイルスターターのロープを引く際は、車体等をしっかり押さえて始動してください。また、危険防止のため手袋等の着用をお勧めします。

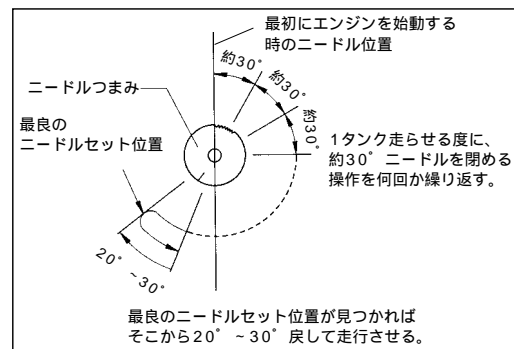
(注意)

エンジンを始動する時はタイヤを地面から持ち上げていますので、エンジンはいわゆる無負荷状態にあり、スロットルが中速以下でもかなりの高速で回転します。この状態で運転を続けると、コンロッドとクランクピンが焼き付きを起こすことがあります。スロットルを開けすぎないようにしてください。



始動したらプラグヒートをはずし、短い時間でアイドリングと中速を繰り返し、暖気運転を行います。

このままの状態でも4~5タンク走行しその後、ブレークインとキャブレター調整をしながら、2~3タンクごとに約10°~30°(1~3クリック)ずつ、ニードルを閉める操作を繰り返してください。(繰り返すごとに閉める角度を少なくしてください。)



(注意)

燃料調整が濃すぎる状態での運転は、ならし運転にならないどころか、エンジンの破損にもつながります。エンジン内に熱が行き渡るよう、ある程度温度をあげた状態でのブレークインを行ってください。

スロットル全開での直線スピードを見ていき、最高のスピードが得られるところが、ニードルバルブの最良位置ですが、その位置から20°~30°開いた位置で走行してください。

ニードルバルブを最良位置からさらに閉めると、エンジンの排気ガスがほとんど見えなかったり、直線でのスピードが落ちたり、立ち上がりの反応が悪くなったりします。このような場合は、そのまま走行せず車を手元に戻し、ニードルバルブを開けてください。

(注意)

空ぶかしでの調整は、実際に走行させる時のキャブレター調整とは大きな違いがあり無意味です。またエンジンの破損にもつながりますので、空ぶかしはしないでください。

燃料の種類を変えたりエンジンを修理したり、サイレンサーやギヤ比・クラッチタイミングを変えた場合は、再度キャブレター調整を行ってください。

エンジンを停止する場合

エンジンを停止する時は、エンジン回転を最低速にして燃料パイプをつまんで、燃料供給を止めてください。

(注意)

エンジン停止の時は回転部分やエンジン本体、サイレンサーは高温になっています。手などで触れないでください。

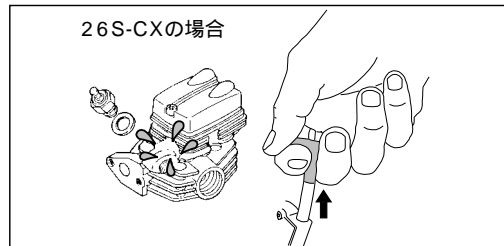
エンジンが始動しない原因

燃料の不足 バッテリーの確認

プラグの点検（断線の場合は、交換してください）

オーバーチョーク（エンジン内に燃料を送りすぎです。プラグもしめり、スターターノブが重くて引けない状態）

- ・プラグレンチでプラグをはずします。
- ・スターターノブを引くか電動スターターで余分な燃料を出す。
- ・この時、燃料が飛び出すので目に入らない様ウエスなどで押さえてください。
- ・燃料が出たらプラグを取り付ける。



タペット調整について

OS 4サイクルエンジンは、出荷前に適切なタペットのすき間に調整してありますので、調整の必要はありません。エンジンの部品を交換したり、エンジンの調子が悪い場合のみ、次の要領で点検してください。点検にはタペット調整キット(オプション)が必要です。

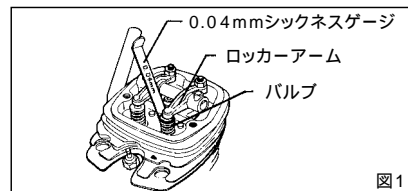
タペット調整キット(オプション)の内容

- ・シクネスゲージ(0.04mm 0.1mm)
- ・マイナスドライバー
- ・1.5mm六角レンチ
- ・5.0mmスパナ

点検や調整は、必ずエンジンが完全に冷えている状態で行ってください

ロッカーカバーを、六角レンチで取り外します。

フライホイールを手でゆっくり運転方向に回すと圧縮が感じられます。圧縮を感じ始めてから、フライホイールを約1/4回転(90°)運転方向に回した位置にします。この位置は、圧縮行程のピストン上死点付近になります。(ロッカーアームが両方とも動かない位置)

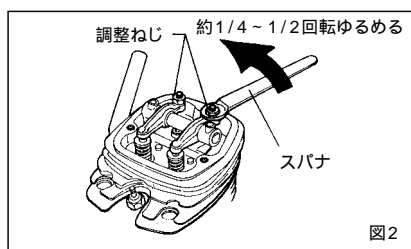


バルブとロッカーアームの間にシクネスゲージを入れてすき間を調べます。0.04mmのゲージが入り、0.10mmのゲージが入らないのが普通です。(図1)しかし、工場出荷直後は両ゲージ共入らない場合もありますが異常ではありません。また、しばらく使用したエンジンで0.10mmのゲージが入ってもエンジンの調子が特に悪くなければ、合えて調整の必要はないでしょう。特にすきまが異常に大きい場合は次の順序で調整してください。

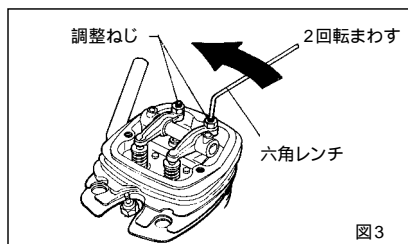
長時間使用して異常を感じなければ0.14mm(2枚重ねてチェック)位まではそのままよい。

0.10mm	↓	すきま過大
		↓
0.04mm	↓	適当なバルブクリアランス(タペットすき間)
		↓
0mm	↓	正常な圧縮があれば使用可

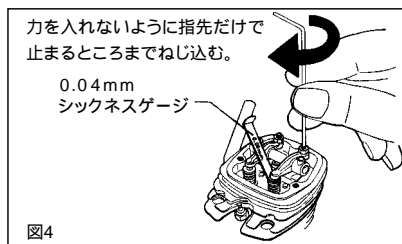
5mmスパナを使って調整ねじのロックナットを調整ねじの動く程度(1/4~1/2回転)にゆるめます。(図2)



調整ねじの頭に合った工具1.5mm六角レンチで、バルブとのすきまが大きくなるよう、反時計方向へ約1/2回転まわします。(図3)

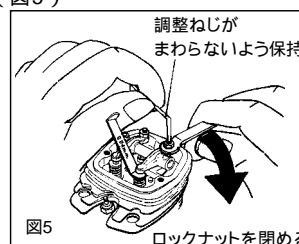


0.04mmのゲージを、バルブとロッカーアームの間にに入れ調整ねじをゆっくり図4のように指先の力だけで止まるところまでねじ込みます。



六角レンチで、スパナをまわしても調整ねじが動かないよう固定しながら、ロックナットを締め付けて、調整ねじを固定します。(図5)


ゲージを抜き取り、再度すきまを(図1)の要領で点検し、OKならロッカーカバーを取り付けます。



取扱い上の注意

使用される燃料中にゴミ等が含まれていますと、キャブレタートラブルの原因になります。キャブレターと燃料タンクの高性能なフィルターを使用し、また燃料タンクにゴミが入らないように注意してください。ゴミによってキャブレターがつまり燃料がうまく流れなくなると、エンジンがオーバーヒートしたり時には焼き付きによって、エンジンを破損することがあります。燃料タンクへはゴミが入らない様に注意し、定期的にフィルターの掃除を行ってください。

このエンジンは2サイクルエンジンと比べ構造上、金属同士が接触する部分が多いため、ロッカーアームやカムシャフト部へのグリスアップもしくは、機械油等による注油をお勧めします。またシリンダーヘッド及びエキゾーストマニホールド付近はかなりの高温になりますので、走行後の取り扱いには十分ご注意ください。

 運転中、運転直後のエンジン本体やサイレンサー、マニホールドに触れないでください。やけどの恐れがあります。

使った後の手入れ

一日の走行が終わったら、燃料タンクに残った燃料は必ず抜き取ってください。

その後もう一度エンジンを始動し、キャブレターや燃料パイプの中に残っている燃料がなくなるまで、アイドリングで運転してください。エンジンが止まったらエンジンが暖かい内にスターターで2~3秒まわし溜まった廃油を排出してください。

さらに、防錆油をエンジン内部に少量注油し、エンジン内部にゆきわたるようスターターで4~5秒回してください。

(注意) 防錆油はキャブレター内の“O”リングを傷める場合がありますので、キャブレターには防錆を注油しないでください。

これによりかなりの防錆効果が得られ、また余分なオイル分が残らず次回エンジンの始動がやりやすくなります。

エンジンの点検

エンジンは長時間、使用している間に磨耗などにより正常な性能を発揮なくなることがあります。もし、次のような症状が現れたら部品交換をされたら良いでしょう。

アイドルリングが不安定になったり、アイドルリングでエンジンがよく止まる。

エンジンの音が変わり、すぐオーバーヒートする。

パワーが極端になくなる。

上記のような症状の場合、多くはボールベアリング、コンロッド、クランクケースの異常が考えられます、注意深く点検し、必要に応じて交換してください。

アフターサービス

エンジンの修理について

- よく洗浄してエンジン本体のみを弊社「OSエンジンサービス係」までお送りください。(エンジン以外のものが付いていたり汚れがひどいと分解や洗浄に時間がかかり、修理代が高くなります)この時、故障時の状態及び修理希望事項を必ずお書き添えください。
- 原則として弊社到着後10日以内で修理完了致します。なお修理品は修理の内容及び注意事項を書いた修理カードを添えてご返送いたします。
- 修理品のお支払いについては、コレクトサービス(代金着払いシステム)により発送させていただきますので、お届けした際に修理代金および送料をお支払いください。

交換部品について

- この製品を購入された販売店でお買い求めください。もし販売店にストックがなく部品が入手できない場合は、弊社から直接購入することができます。この場合、品名コード、品名、数量を明記の上、部品代金(消費税分を加算して)+送料を現金書留か、普通為替で「OSエンジンサービス係」へお送りください。
- 送料は部品の大きさ、重さ、個数により変わります。下記の郵便料金をひとつの目安にして、多少加算した額を送料として同封してください。商品発送時に精算して、差額はお返しします。(封筒や梱包材料などの重さも加わりますのでご注意ください。)

重量	50gまで	75gまで	100gまで	150gまで	200gまで
料金	120円	140円	160円	200円	240円
重量	250gまで	500gまで	750gまで	1Kgまで	2Kgまで
料金	270円	390円	580円	700円	950円

送料は平成11年11月現在で法規改正などにより変更になる場合があります。

- 現金書留および普通為替以外でのお申し込みは、コレクトサービス(代金着払いシステム)とさせていただきます。
 - エンジンを分解したり、組み立てたりすることに、あまり経験のない方には部品の交換はお勧めできません。この製品を購入された販売店にご相談ください。
- 「OSエンジンサービス係」
電話 06) 6702-0230 FAX(06) 6704-2722

オプション パーツ&アクセサリ

O.S. SPEED RACING ENGINE PARTS

チューンドサイレンサー-T-1020
(72103020) ¥5,000



4サイクルカー用サイレンサー-F-2000
(44125100) ¥3,800



ハイパーエキゾーストセット
京商スーパー10用(44126000) ¥2,500
京商スパイダー用(44126010) ¥2,500



スーパージョイントチューブ15
(72103310) ¥500



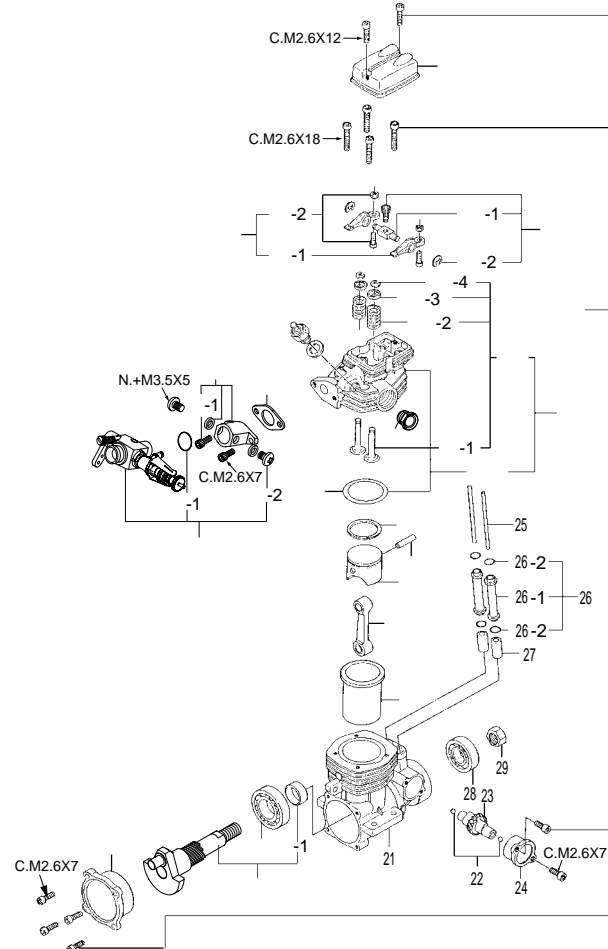
タベット調整キット
(72200060) ¥550



ロング プラグレンチ
(71521000) ¥550



FS-26S-Cエンジン分解図

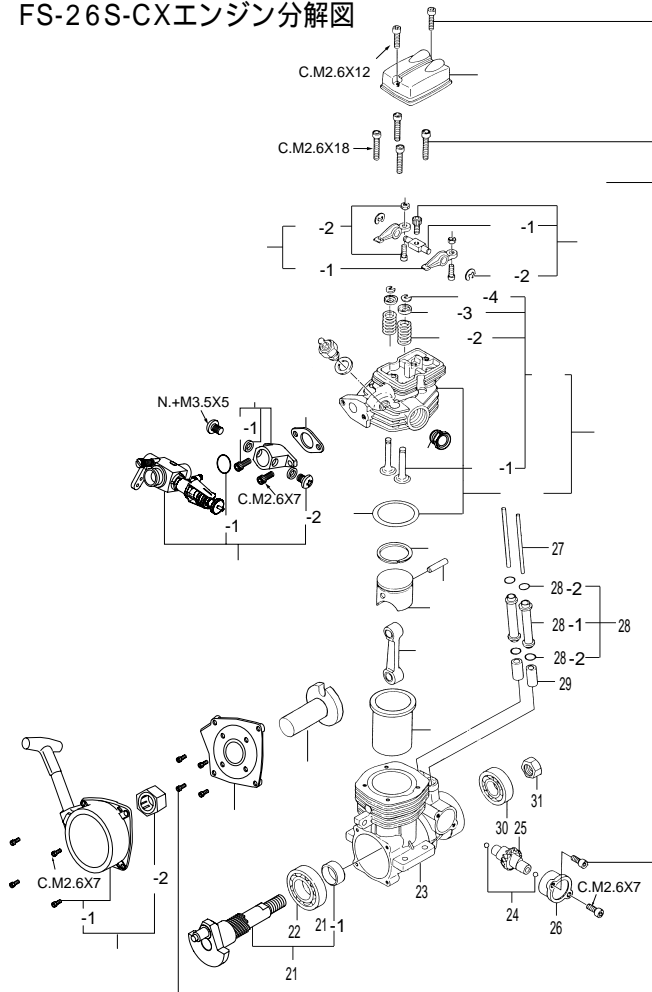


*ねじの種類 C...キャップスクリュー B...バインドねじ M...丸平ねじ F...皿ねじ
N...なべねじ S...セットスクリュー

No.	品名コード	品名(品名後の【 】が価格)
	4 4113 000	スクリュー・セット【270】
	4 5704 210	ロッカー・カバー【200】
	4 5761 400	ロッカー・サポート 一式【330】
-1	4 5761 410	ロッカー・サポート【310】
-2	4 5761 600	ロッカー・アーム・リテイナー(2個)【100】
	4 5761 000	ロッカー・アーム 一式(1組)【900】
-1	4 5761 100	ロッカー・アーム(1個)【650】
-2	4 5761 200	タペット調整ねじ【220】
	4 5760 020	バルブ 一式(1組)【650】
-1	4 5760 110	バルブ(1個)【440】
-2	4 5760 210	バルブ・スプリング(1個)【100】
-3	4 5060 309	バルブ・スプリング・シート(1個)【170】
-4	4 6160 400	バルブ・スプリング・リテイナー(2個)【110】
	4 4104 100	シリンダー・ヘッド(ガスケット付)【1,900】
	4 4104 020	シリンダー・ヘッド(ガスケット、バルブ一式付)【3,200】
	4 5769 200	エキゾースト・パイプ・ロックナット【170】
	2 1381 950	インシュレーター【200】
	4 4169 400	インターク・マニホールド 一式【1,750】
-1	2 3081 725	取付ねじ(2本セット)【100】
	2 1381 050	キャブレター・スロットル(1AB-K6)【1,600】
-1	2 1015 001	キャブレター・ガスケット【100】
-2	2 3081 706	キャブレター取付ねじ(2本)【100】
	2 2714 100	シリンダー・ヘッド・ガスケット【100】
	4 4103 400	ピストン・リング【1,200】
	4 4103 200	ピストン【1,100】
	2 2706 000	ピストン・ピン【300】
	4 5705 000	コンロッド【750】
	4 4103 100	シリンダー・ライナー【1,100】
	4 5707 010	カバー・プレート【300】
	4 4102 010	クランクシャフト【2,100】
-1	4 5702 100	クランクシャフト・スペーサー【110】
	2 2630 002	クランクシャフト・ベアリング(後)【750】
21	4 4101 020	クランクケース【2,700】
22	4 5762 100	スラスト・ボール(2個)【100】
23	4 5762 010	カムシャフト【1,900】
24	4 5701 110	カム・カバー【250】
25	4 4166 000	プッシュ・ロッド(2本セット)【220】
26	4 4166 100	プッシュ・ロッド・カバー 一式(2本セット)【650】
26-1	4 4166 110	プッシュ・ロッド・カバー(1本)【210】
26-2	2 4881 824	プッシュ・ロッド・カバー Oリング(2個)【140】
27	4 5264 000	カム・フォロア(2本セット)【440】
28	4 5231 000	クランクシャフト・ベアリング(前)【700】
29	2 3210 007	プロペラ・ナット【100】
	7 1615 009	グローブプラグ タイプF【600】
	7 2403 100	スーパー・エア・クリーナー 101(エレメント3個付)【800】
	7 2403 110	101 エア・クリーナー本体【580】
	7 2403 120	101,102スポンジ・フィルター・エレメント(6個セット、オイル含浸済)【450】

製品改良のため予告なく仕様を変更する場合があります。
*表示価格には消費税は含まれておりません。

FS-26S-CXエンジン分解図

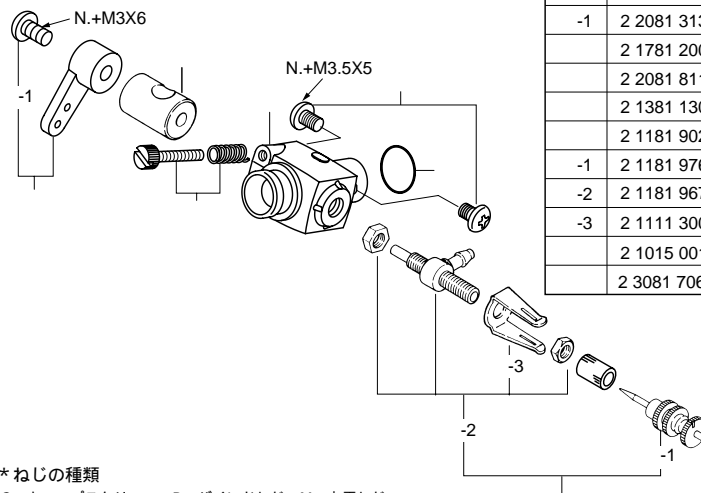


* ねじの種類 C...キャップスクリュー B...バインドねじ M...丸平ねじ F...皿ねじ
N...なべねじ S...セットスクリュー

No.	品名コード	品名 (品名後の【 】が価格)
	4 4113 000	スクリュー・セット【270】
	4 5704 210	ロッカー・カバー【200】
	4 5761 400	ロッカー・サポート 一式【330】
-1	4 5761 410	ロッカー・サポート【310】
-2	4 5761 600	ロッカー・アーム・リテイナー (2個)【100】
	4 5761 000	ロッカー・アーム 一式 (1組)【900】
-1	4 5761 100	ロッカー・アーム (1個)【650】
-2	4 5761 200	タペット調整ねじ【220】
	4 5760 020	バルブ 一式 (1組)【650】
-1	4 5760 110	バルブ (1個)【440】
-2	4 5760 210	バルブ・スプリング (1個)【100】
-3	4 5060 309	バルブ・スプリング・シート (1個)【170】
-4	4 6160 400	バルブ・スプリング・リテイナー (2個)【110】
	4 4104 100	シリンダー・ヘッド (ガスケット付)【1,900】
	4 4104 020	シリンダー・ヘッド (ガスケット、バルブ一式付)【3,200】
	4 5769 200	エキゾースト・パイプ・ロックナット【170】
	2 1381 950	インシュレーター【200】
	4 4169 400	インテーク・マニホールド 一式【1,750】
-1	2 3081 725	取付ねじ (2本セット)【100】
	2 1381 050	キャブレター・スロットル(1AB-K6)【1,600】
-1	2 1015 001	キャブレター・ガスケット【100】
-2	2 3081 706	キャブレター取付ねじ (2本)【100】
	2 2714 100	シリンダー・ヘッド・ガスケット【100】
	4 4103 400	ピストン・リング【1,200】
	4 4103 200	ピストン【1,100】
	2 2706 000	ピストン・ピン【300】
	4 5705 000	コンロッド【750】
	4 4103 100	シリンダー・ライナー【1,100】
	7 3003 000	No.5リコイルスターター 一式【2,300】
-1	7 3003 100	No.5リコイルスターター本体【1,200】
-2	7 3003 200	No.5ワンウェイクラッチ【1,500】
	4 4121 000	リア・アダプター【1,400】
	4 4121 200	スターティングシャフト【1,000】
21	4 4102 100	クランクシャフト【2,300】
21-1	4 5702 100	クランクシャフト・スペーサー【110】
22	2 2630 002	クランクシャフト・ベアリング (後)【750】
23	4 4101 020	クランクケース【2,700】
24	4 5762 100	スラスト・ボール (2個)【100】
25	4 5762 010	カムシャフト【1,900】
26	4 5701 110	カム・カバー【250】
27	4 4166 000	ブッシュ・ロッド (2本セット)【220】
28	4 4166 100	ブッシュ・ロッド・カバー 一式 (2本セット)【650】
28-1	4 4166 110	ブッシュ・ロッド・カバー (1本)【210】
28-2	2 4881 824	ブッシュ・ロッド・カバー Oリング (2個)【140】
29	4 5264 000	カム・フォロア (2本セット)【440】
30	4 5231 000	クランクシャフト・ベアリング (前)【700】
31	2 3210 007	プロペラ・ナット【100】
	7 1615 009	グローブラグ タイプF【600】
	7 2403 100	スーパード・エア・クリーナー 101 (エレメント3個付)【800】
	7 2403 110	101 エア・クリーナー本体【580】
	7 2403 120	101,102スポンジ・フィルター・エレメント (6個セット、オイル含浸済)【450】

製品改良のため予告なく仕様を変更する場合があります。
* 表示価格には消費税は含まれておりません。

キャブレタースロットル分解図及び部品表



No.	品名コード	品名(品名後の【】が価格)
	2 2081 408	スロットル・アーム 一式【100】
-1	2 2081 313	アーム取付ねじ【100】
	2 1781 200	キャブレター・ローター【440】
	2 2081 811	ローター調整ねじ【110】
	2 1381 130	キャブレター本体【650】
	2 1181 902	ニードル・バルブ 一式【500】
-1	2 1181 976	ニードル【250】
-2	2 1181 967	ノズル 一式【260】
-3	2 1111 300	ラチェット・スプリング【100】
	2 1015 001	キャブレター・ガスケット【100】
	2 3081 706	キャブレター取付ねじ(2本)【100】

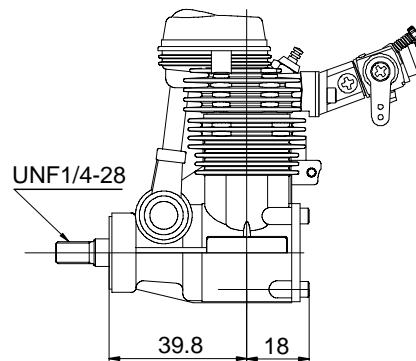
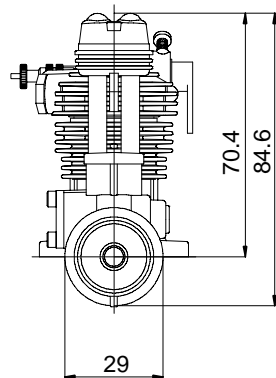
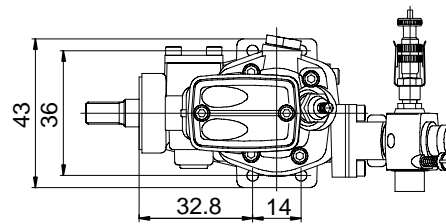
*ねじの種類

C...キャップスクリュー B...バインドねじ M...丸平ねじ
F...皿ねじ N...なべねじ S...セットスクリュー

FS-26S-C 三面図

要目

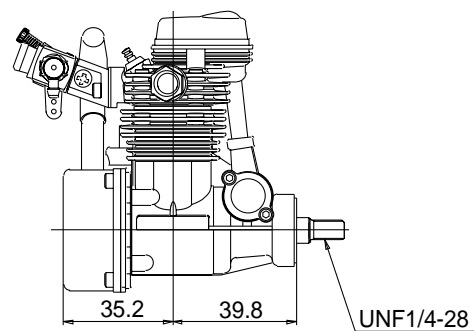
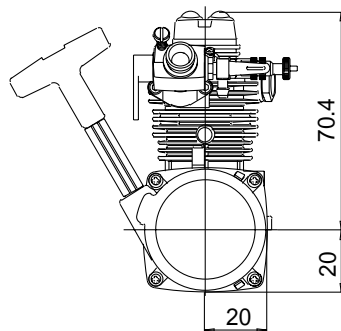
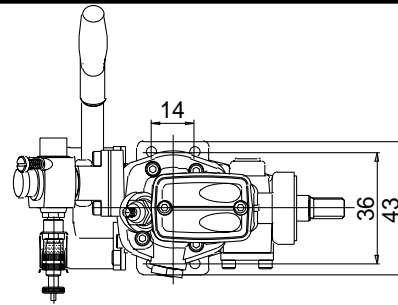
行程体積	4.41cc
ボア	18.5mm
ストローク	16.4mm
実用回転数	2,000 ~ 22,000r.p.m.
出力	0.5ps/17,000r.p.m.
重量	242.5g



FS-26S-CX 三面図

要 目

行程体積	4.41cc
ボア	18.5mm
ストローク	16.4mm
実用回転数	2,000 ~ 22,000r.p.m.
出力	0.5ps/17,000r.p.m.
重量	308g



-26-



小川精機株式会社

〒546-0003 大阪市東住吉区今川3丁目6番15号

電話 (06) 6702-0225番(代)

FAX (06) 6704-2722番

URL : <http://www.os-engines.co.jp>